



# ぱたぽん通信

制作：東野小 学校応援団ぱたぽん 発行：PTA会長 藤田 夕子

2024年  
1月号

1月24日(水)に今年度第6回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

## 1-1 ろくべえまってるよ



作：灰谷 健次郎  
絵：長 新太  
出版社：文研出版 / 1978年

あまの きょうこ せんせい よ  
天野京子先生が読んでくださいました。

## 1-2 おむすびころりん はっけよい!



作：森くま堂  
絵：ひろかわ さえこ  
出版社：偕成社 / 2020年

「さんかくおむすびのくに」と「まんまるおむすびのくに」がありました。お互いのくにはいがみ合っており、とうとうの様同士が決着をつけることになります。

(青木 望)

## 1-3 あるひくじらが やってきた



作：ニック・ブランド  
訳：なかがわ ちひろ  
出版社：小学館 / 2022年

ある日くじらが町までやってきた。魚屋で買物をしたり自転車で乗ったり生活し始めたくじら達。どうしてくじらは海をあがって町でくらしはじめたのでしょうか？

(古川 美和子)

## 1-4 あっ、ひっかかった



作・絵：オリヴァー・ジェファーズ  
訳：青山 南  
出版社：徳間書店 / 2014年

フロイドが、ひっかかったたこをおとそうとして、くつや、いろいろなものをなげっていきます。たこはちゃんととれるかな？

(平石 準)

## 2-1 おどってる こまってる



作：高島 那生  
出版社：フレーベル館 / 2023年

この人はおどってる？ こまってる？ 視点を変えるとおどってるがこまってるに！ ページをめぐる度にどっちどっちとおどらされます。

(伊早坂 敦子)

## 2-2 紙芝居 へっこきよめ



文：香山 美子  
画：川端 誠  
出版社：教育画劇 / 1993年

きれいで、やさしくて、よくはたらくおよめさん。大きなおならで、おばあさんをふっとばしてしまいました。

(川畑 けい子)

## 2-3 やまんばのにしき



作：松谷 みよ子  
絵：瀬川 康男  
出版社：ポプラ社 / 1967年

「ちよふくやまのやまんばがこどもうんで、もちついてころ。」とある夜、村に大きな声が響き渡った。そこで村じゅう大騒ぎ。秋田県に伝わる民話です。

(栗谷 陽子)

## 2-4 おいしいぼうし



作：シゲタサヤカ  
出版社：教育画劇 / 2013年

ある朝、家の前に見なれないものが引っかかっていた。ペットにしてまわると、うすら透かしています。それは、あの子の大事なぼうしだったので…。

(本山 あゆみ)

## 3-1 とんでもない



作：鈴木 のりだけ  
出版社：アリス館 / 2016年

「ぼくはふうの子。鎧のような皮をもつサイが羨ましい。」と言うと「とんでもない」とサイは答えて…。

(細田 香奈)

## 3-2 じごくのさたもうでしだい



作：もとした いづみ  
絵：竹内 通雅  
出版社：ひかりのくに / 2014年

偶然同じ日に生まれ、同じ日にあの世に逝ってしまった仲良し3人組。三途の川で騒いでいると、閻魔様に怒られ、地獄行きになってしまいます。3人の運命やいかに…！？

(末廣 祐里)

## 3-3 おおきなねことちいさなねこ



再話・絵：石黒 亜矢子  
出版社：好学社 / 2016年

仲の良い大きな猫と小さな猫は、一つずつおにぎりを見つけてます。その大小を巡って2匹は大げんか。そこで賢いと評判のサルに相談しますが…。

(西田 有加)

## 3-4 メアリー・アリス いまなんじ?



作：ジェフリー・アレン  
絵：ジェームズ・マーシャル  
訳：小沢正  
出版社：童話館出版 / 1995年

仕事大好きなあひるのメアリー。ある日風邪をひいたため、他の動物が代わりにその仕事をやってみますがうまくいかず…。

(堀口 美樹)

